

NPO法人ふくてっく 第18回総会議事録

会員出席状況報告

中北事務局等は、現在会員数37名中、会員 26名（うち委任状提出 5名）の出席があり、総会が成立することを報告した。

議長選出

中北事務局長は、総会を開始するにあたり、議長を小川理事に託したい旨諮ったところ、全員意義なくこれを承認した。

開会の宣言

小川理事は議長席につき、13時38分に開会を宣言した。

書記および議事録署名人の指名

議長は、議事録作成を中北会員に指示し、議事録署名人として和泉会員および曽我部会員を指名した。

I号議案 平成30年度活動報告

理事長総括

(小川理事長)

30年度も充実した活動を継続する事ができ安堵しています。
ただ近年は、元気に活動が続ける3部会の増加する活動機会に対して、会員の活動負担が大きくなっているのではないかと少し気になっています。
その一番の解決策は、やはり会員の増員となり、現在「ふくてっく」が行う活動に興味を示す方への入会を勧める事に力を注ぎたいと思います。

そんな中でも、やりくりしながら活動する会員は、どの活動にも手を抜く事なく「全力」で取り組んでおり、その姿勢は活動結果や成果に出てきました。丁寧な活動を知り、紹介やネットワークを活かしての新規活動依頼が徐々に増え、これまでの継続活動にもつながり誇らしい限りです。これからも取組姿勢は変わらず、どの活動にも「全力」で関わりながら、楽しく社会貢献、役割を担う活動を続けて行きたいと思います。

事務局報告

(中北事務局長)

◆定例会記録

開催日	学習会テーマ	学習会講師	その他
H30.7.7	手すりの大切さ 「快適で豊かな住環境」を目指して	手すりの大切さ 「快適で豊かな住環境」を目指して	・7/21運営会議開催 ・夢宇センターの自立支援体験ホーム視察
H30.8.4	第17回定期総会開催		・8/4午前中に理事会開催 ・大阪北部地震でばねがぼんの放デイ被災、仮事務所の開設届に協力
	3部会の活動紹介	各部会リーダー	
H30.9.1	名古屋のおも城ばなし ～どうなるバリアフリー～	石田義典氏 NP0ちゅうぶ 事務局長	・住まい情報センタータイアップ事業「木に触れ合う縁日」に参加 ・在宅ケアを支える診療所・市民ネットワークの集いにボランティアとして参加
H30.10.6	東大阪ええとこMAP石切	磯田吉郎会員	
H30.11.10	「だまされない、間違わない、損をしない！」ための情報整理術	大山芳乃氏 NP0法人全国NIE、E指導委員会 京都・鹿児島支局長	・ポジティブ生活文化交流会参加
H30.12.1	中止（講師の都合による）		・会誌95号を発刊
H31.1.5	親睦会（学習会はなし）		・ボランティア協会 新年互礼会参加
H31.2.2	高齢化時代の新聞の役割	小田原 健氏 毎日新聞社 デジタルトランスフォーメーションDX委員会 事務局長	・午前中に理事会開催
H31.3.2	民法改正について知っておきたいこと	中嶋士朗氏 つかもと駅前相談室 行政書士	・こうべユニバーサルデザインフェアに「すべらんうどん」が出店され、有志が参加
H31.4.6	インクルーシブ防災と地域の助け合い ～すべての人に配慮した防災対策～	水谷真氏 社福AJU自立の家 所長	・生駒いいもり里山にて材料調達&ミニ花見開催 ・eトコ11周年感謝祭参加
H31.5.11	台湾に学ぶ地域福祉のまちづくり	松永貴美氏 住之江区役所 保健福祉課 子育て・地域福祉 担当係長	・防災シンポジウム参加
H31.6.1	特別養護老人ホームを知っていたために	大内啓史氏 社福ほがらか会 事務長	・会誌96号を発刊

◆総会記録

開催日時	場所	議事
第17回 定期総会 H30.8.4 13:40~15:10	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室 正会員総数37名 出席20名 (うち委任状出席4名)	・ H29年度活動報告・同決算 承認 ・ H30年度活動計画・同予算 承認 ・ 定款変更の件

◆理事会・運営会議記録

開催内容・日時	場所	議事
運営会議 H30.7.21 17:00~18:30	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室	・ 定款変更の件 ・ H29年度活動報告、H30年度活動計画 ・ H29年度決算、H30年度予算計画 ・ NP015周年記念事業収支
理事会 H30.8.4 10:34~12:10	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室	・ H29年度活動、決算報告 ・ H30年度活動、予算計画
理事会 H31.2.2 11:05~12:10	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室	・ H30年度上半期の活動報告、下半期の活動展望

1. ふくてっくのつどい

(小川会員)

ものづくり活動		平成30年度事業報告 (H30/7/1～R01/6/30)	
A：事業活動		(有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)	
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 成果
1	あそびかたフェスタ	8/26 【2回目】	大阪市立総合医療センターの年に一度のお祭りフェスタ。入院中の子供たち、退院した子供たち、通院している子供たちが対象。(和泉、稲住、小川、鎌田、苅田、佐久川、島村、曾我部、春岡 計9名参加) 医療センター内でボランティア活動をしている団体がさまざまな内容で出展参加。午前中は参加者が少なめだったが午後は家族も多く参加し、木工が本当に珍しいのか多くの喜ぶ声を聞けました。
	あそびかた研究会		
	大阪市立総合医療センター・さくらホール		
2	木と触れ合う縁日	9/22 【1回目】	もくの会のタイアップ事業で子ども達に木に触れ合ってもらうイベント。(和泉、上田、小川、苅田、曾我部、松田、松本 計7名参加) イベント広報があまり機能せず、結局16組しか来なかった。ただ子ども達にとっては貴重な体験が多く、他の団体からも刺激を受けた。
	NPO法人もく(木)の会		
	ATCホール		
3	幼稚園親子木工教室	10/24 【4回目】	子ども達に木に触れ合う機会を作り、工作を通じて工具体験を目的に親子交流の時間を作る。(池端、小川、鎌田、苅田、佐久川、島村、寺岡、曾我部、松本 計9名参加) 幼稚園保管の子供用かなづち、くぎ抜き、カンナとのこぎりを譲りうける。体験と木工をバタバタしながら親も先生も喜んで参加し、園児にとっては初めての工具体験が良い経験になる。
	羽曳野市立高鷺北幼稚園		
	上記幼稚園(羽曳野市)		
4	38回池島ふれあいまつり	11/23 【複数】	地域の「ふれあいまつり」での木工工具体験と自由な発想による工作製作。(有馬、上田、小川、鎌田、苅田、佐久川、島村、曾我部、寺岡、春岡、松本 計11名参加) やはり自由木工では概ね定番の作品が多くできる。毎年参加の子供達との再会はとてもうれしく、成長も感じられ、ものづくりを通じての地域交流が提供できた。
	社会福祉法人海の子の家		
	池島公園		
5	未来っ子カーニバル	12/15 【1回目】	大阪府下の児童養護施設の子供達が集まるイベント。(和泉、池端、小川、鎌田、苅田、小椋、古場、佐久川、清水、曾我部、寺岡、春岡、松本 計13名参加) 70名参加のゆっくりした活動となったが、新たな子ども達と出会えました。第三者評価に伺った施設の子供達も参加して懐かしく話をする事もできた。予定したツリーより自由木工作成が多かった。
	(株)スペシャルキッズ振興協		
	東和薬品ラクダドーム (大阪府立門真スポーツセンター)		
6	院内学級授業	1/30 【3回目】	院内学級の授業枠をつかって木工体験をする。今回はミニキャンドルとのコラボを試みる。(大塚、小川、鎌田、苅田、佐久川、清水、曾我部、寺岡、春岡、山本 計10名参加) 木工製作に光(照明)を加え、光の表現として和紙なども準備したが、子ども達は独創性溢れる作品を作ってくれました。
	あそびっくる		
	大阪市立総合医療センター光陽総合医療分教室		
7	てんかん啓発イベント	3/24 【1回目】	初めての活動となる。病院からの紹介で子どものてんかんを知ってもらおうという啓発イベントに参加。(有馬、和泉、上田、大塚、小川、鎌田、苅田、清水夫妻、曾我部、春岡、松本 計12名参加) 屋外植物園での活動で木工がある事を知らない親子連れが興味を持って参加することが多くなる。
	パープルデー大阪実行委員		
	長居植物園		
8	共生・共走りレーマソン (子ども体験コーナー)	5/26 【4回目】	毎年恒例の年度最後のお祭り木工体験。(和泉、池端、小川、苅田、佐久川、島村、清水、曾我部、寺岡、春岡、松本 計11名参加)(立溝、竹内、清水) 毎年楽しみにしてくれている子供達が開始前から木材料を物色する所からスタートし今年は83名参加で自然木を使った作品ができる。
	マツサク		
	花博鶴見緑地公園		

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 成果
1	材料調達	7/22 9/30	自然木の調達
	複数参加	10/8 11/18	各活動の為の材料調達として生駒いいもり里山で作業をする。 (池端、小川、鎌田、荻田、曾我部、中北、春岡、松本)
	生駒いいもり里山	12/2 5/5	
2	つどい部会	9/22	30年度後半の活動内容についての協議
	7名		8月から続く毎月の木工活動の予定を確認し、新たな取組も含め貴重な意見も出る。 (和泉、上田、小川、荻田、曾我部、松本、松田)
	ATCふくてっく事務所		
3	材料調達	10/14	材料調達
	3名		丸太輪切りを準備できた。 (稲住、小川、荻田)
	岡さん能勢別荘		
4	材料調達	10/20	材料調達
	3名		松ぼっくり、どんぐり調達。 (稲住、小川、鎌田)
	ATC周辺		

ものづくり活動 平成30年度収益費用報告 (H30/7/1～R01/6/30)				
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A-1	あそびかたフェスタ	10,000	24,108	△ 14,108
A-2	木のふれあい縁日	5,000	17,000	△ 12,000
A-3	幼稚園親子木工教室	20,000	19,000	1,000
A-4	池島ふれあいまつり	25,000	33,500	△ 8,500
A-5	未来っ子カーニバル	50,000	39,000	11,000
A-6	院内学級授業	5,000	20,881	△ 15,881
A-7	てんかん啓発パープルDAY	54,000	39,400	14,600
A-8	共生・共走りレーマラソン	8,300	33,303	△ 25,003
合計		177,300	226,192	△ 48,892

たいけん活動 平成30年度事業報告 (H30/7/1～R01/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 成果
1	カニご賞味会&交流会	1/20	会員間交流
	7名+8名		旬の食材を頂きながら他団体との意見交換、近況報告で交流を図る。
	eトコ(東成区)		
2	里山花見	4/13	会員間交流
	6名		里山の自然を満喫する為、桜のみならず山の花々を楽しみながら散策する。
	生駒いいもり山		

2. 東大阪部会

(清水会員)

東大阪部会		平成30年度事業報告 (H30/7/1～R01/6/30)	
A：事業活動		(有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)	
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 成果
1	H30/7/1～H31/3/31 東大阪市重度身体障害者 住宅改造費助成制度適正 検証事業	H30年 7/1～ R1年 6/30	障害者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。高齢者・障害者の在宅生活の継続に寄与する共に、施工業者のスキルアップや地域福祉力の育成に寄与する。検証活動（建築士・セラピスト）・事前相談会・報告書作成・データ収集等実施
	東大阪市		H30年4/1～H31年3/31 実績 重度身体障害者世帯（認定16件・完了13件） セラピスト検証活動4回 事前相談会実績12件
	東大阪市内		H30年度報告書作成
2	H30/7/1～H31/3/31 東大阪市介護保険住宅改 修適正検査事業	H30年 7/1～ R1年 6/30	住宅改修の質を第一義とし、副次的に不適切な介護保険適用を抑制する。検証活動・申請書類等作成・事例検討会・データ収集等実施
	東大阪市		H30年4/1～H31年3/31 実績 検証実績/単独事前及び事後審査259件 併用事前審査5件 併用事後審査4件 書類審査3件 手引書等書類作成
	東大阪市内		
3	東大阪市介護保険住宅改 修研修会	H30年 ①8/1 16:00～ 18:00 ②8/22 17:00～ 19:00 ③8/8 14:00～ 16:00	東大阪市住宅改修施工事業者・介護支援専門員等を対象に、介護保険住宅改修制度に関する理解を深めるための研修会を、施工事業者登録説明会と同時に開催する。 共通：H28年度の介護保険住宅改修の現状 ①②「喜ばれる住宅改修をめざして」スムーズな手続き、適切な計画 ③「喜ばれる住宅改修をめざして」住宅改修の理解・理由書作成時の注意点
	東大阪市		講師：①小川 ②曾我部 ③清水 参加者：①施工業者142名② 85名 ③ケアマネ98事業所
	東大阪市男女共同参画セ ンター6階 イーコラムホール		①②適切・不適切事例の違いが理解され、不適切事例の減少に結びつく。 ③理由書に求められる要件が理解され、不備な理由書の減少に結びつく。
4	寝屋川市介護保険住宅改 修支援事業	H30年 9/7 ①10:00 ～11:30 ②13:00 ～14:30 ③15:00 ～16:30	健全な制度利用と施工事業者の資質向上への支援、担当職員へ介護保険住宅改修の趣旨を促し、健全な運営には行政体制の確立が必要であることを明らかにする。 1日の中で①③事業者登録研修会2回 ②ケアマネ研修会を実施する。 ①③ 「介護保険住宅改修に求められるもの」 ②「喜ばれる住宅改修をめざして～理由書作成～」 ・介護保険住宅改修の目的、流れ、役割、事例をもとに説明をおこなった。
	寝屋川市		講師：①小川 ②清水 ③山本 参加者：①施工事業者 61名 ②ケアマネ 29名 ③施工事業者 29名
	寝屋川市立保健福祉センター4 階健康指導室		開催日が台風直後のため、予定していた会場の使用が不可能になり、急遽会場が変更された。また、施工事業者は台風被害修繕工事、ケアマネは要介護者等のフォローため研修会に参加できないところが多かった。
5	大阪市住まい情報セン ター・タイアップ事業	H30年 7/8 ①13:30 ～15:30 ②15:30 ～16:00	高齢者や家族が住環境改善に主体的に関わる必要性について気づきを促すことを目的とし、「介護保険による住宅改修」をきっかけにして、高齢者や家族が住まいのハード面の問題点に気づくことは家庭内事故の防止に繋がり、また、住環境改善の知識を有することは住宅改修等のトラブルの防止に繋げる。 ①「住み慣れた家で暮らしていくために 必要になる前に知っておこう！」「介護保険による住宅改修/トラブル回避術！」セミナー+寸劇 手すりのサンプル（マツ六協力）を用意し、体感コーナーを設ける ②個別相談
	大阪市民		担当：小川、大塚、鎌田、寺岡、曾我部、和泉、清水 参加者：62名（申込81名） 個別相談：4組
	大阪市住まい情報セン ター3階研修ホール		参加者の声：寸劇がわかりやすかった。手すりに触れられてよかった等

6	大阪市住まい情報センター・出前講座	H30年 ①7/25 ②8/2 ④10/31 ⑤2/7 13:30～ 15:00	目的：高齢者や家族が住環境改善に主体的に関わる必要性について気づきを促すことを目的としています。マツ六株式会社の協力により「手すりデモ器」製作し「手すりサンプル」と共に、参加者が体験できる取組をおこなっている。 テーマ：「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」 ①7/25 生魂女子会/生魂会館 「たかが手すり・されど手すり」 ②8/2 阿倍野老人福祉センター/同左「たかが手すり・されど手すり」 ③8/31 福島老人福祉センター/同左「介護保険の住宅改修」 ④10/31 生野区老人福祉センター/同左「たかが手すり・されど手すり」 ⑤2/7 住吉区社会福祉協議会/沢ノ町会館「たかが手すり・されど手すり」
	大阪市民	③8/31 10:30～ 12:00	①講師：清水+曾我部、山本・春岡・佐久川 参加者：23名（60歳～90歳代） ②講師：曾我部+山本、春岡・清水 参加者：18名（60歳～80歳代） ③講師：清水+寺岡 参加者：14名（60歳～80歳代） ④講師：山本+清水、曾我部・小川 参加者：16名（50歳～80歳代） ⑤講師：小川+清水、春岡・大塚 参加者：18名（75歳～90歳代）
	大阪市内		
7	ワンポイントアドバイス冊子発行		活動未

東大阪部会			平成30年度事業報告（H30/7/1～R01/6/30）
B：部会活動			（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 成果
1	定例検討会	H30年7月 ～R1年6 月第3土 曜日	東大阪活動における情報の共有と促進。課題と対策の検討。共通認識及びスキルの向上。
	検証メンバー全員		12回開催
	ATCふくてっく事務局・ 大阪市立社会福祉センター会 議室		検証基準や技術手法を共有し、個人ではなくチームで取り組み 適切、且つ、迅速な適正検証活動が推進されている。

H30年度東大阪検証活動 作業担当報告

月	検証活動日	検証記録	改造助成事前相談会		活動予定	部会			ふくてっく定例会	その他活動予定
	介護住介：木曜 ゴシックは水曜 改造助成：第1・3木曜	集積送信	第3木曜	担当	作成連絡	第3土曜	議事進行	記録	発表担当	
4	5.12.19.26	鎌田	4/19	鎌田	4/12 4/26 小川	4/21	川北	鎌田	4/7 大塚「らくらくトライ体操ガレッジ」	4/12改造/活動日
5	2.10.17.24.31	清水	5/17	小川	5/10 5/24 山本	5/19	山本	寺岡	5/12 小川「予防救急」	5/2活動日 5/10（締切5/2） 5/31改造/活動日
6	7.14.21.2	曾我部	6/21	曾我部	6/14 6/28 川北	6/16	山本	曾我部	6/2 曾我部「東大阪の昔の昔はなし」	・介護住改、改造助成 H29年度報告書等納品
（以上、平成29年度参考）										
7	5.12.19.26	春岡	7/19	磯田	7/12 7/26 小川	7/21	川北	春岡	7/7 寺岡「ラグビーのルール」	・7/8(日)住まい情報センター「アップ」事業 ・7/25出前講座
8	2.9.16.23.30	大塚	8/16	清水	8/9 8/23 山本	8/18	川北	大塚	8/4なし	・8/1・22介護住改研修会、8/8アミ講習会 ・8/2.31出前講座
9	6.13.20.27	川北	9/20	川北	9/13 9/27 川北	9/15	山本	川北	9/1 川北「ラグビーワールドカップ2019」	9/7寝屋川研修会
10	4.11.18.25	寺岡	10/18	寺岡	10/11 10/25 小川	10/20	川北	射水	10/6 磯田「東大阪ええトマップ石切」	10/31出前講座
11	1.8.15.22.29	大塚	11/15	山本	11/8 11/22 山本	11/17	山本	大塚	11/10 山本「検証事例から1」	
12	6.13.20	磯田	12/20	春岡	12/13 川北	12/1	川北	山本	12/1 鎌田「検証事例から2」	12/13 東大阪市協議
1	10.17.24.31	山本	1/17	山本	1/10 1/24 小川	1/19	川北	小川	1/4なし	1/10（締切1/4） 1/31改造/活動日
2	7.14.21.28	後藤	2/21	後藤	2/14 2/28 山本	2/16	山本	後藤	2/2 後藤「備えあれば憂いなし」	2/7出前講座
3	7.14.20.28	小川	3/20	清水	3/14 3/28 川北	3/16	山本	磯田	3/2 春岡「雨水＆雨庭の話」	3/20(水)事前相談会・改造/活動日
4	4.11.18.25	鎌田	4/18	鎌田	4/11 4/25 小川	4/20	川北	鎌田	鎌田「活動事例」	
5	9.16.23.30	曾我部	5/16	曾我部	5/9 5/23 山本	5/18	山本	春岡	小川	
6	6.13.20.27	山本	6/20	山本	6/13 6/27 川北	6/15	川北	山本	山本	

東大阪部会		平成30年度収益費用報告（H30/7/1～R01/6/30）		
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A-1	東大阪市高齢者・重度障害者住宅改造 費助成制度適正検証事業	842,400	諸謝金 2,841,000	1,108,632
			印刷製本費 18,264	
			通信運搬費 3,892	
			消耗品費 76,038	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事 業	3,535,380	旅費交通費 299,228	
			会議費 13,600	
			租税公課 2,600	
			支払手数料 14,526	
A-1,2	雑収入(H29年度未払金差額)	33,000	0	33,000
A-3	東大阪市介護保険住宅改修研修会	194,400	諸謝金 137,000	41,060
			旅費交通費 16,340	
A-4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	108,000	諸謝金 78,000	25,500
			旅費交通費 4,500	
A-5	大阪市立住まい情報センタ ータイアップ事業	0	諸謝金 65,000	△ 71,957
			通信運搬費 1,577	
			旅費交通費 5,380	
A-6	大阪市立住まい情報センタ ー出前講座	0	諸謝金 80,000	△ 85,920
			旅費交通費 5,920	
合計		4,713,180	3,662,865	1,050,315
22.28%				

3. こむねっと部会

(中北会員)

◆総括

計画	実績評価
◆福祉サービス第三者評価事業については、大阪府社協がH30年度末をもって退場するなかで、大阪府の第三者評価事業の健全な推進に寄与するとともに、当機関の特性である、丁寧な、そして地域社会増進の理念に沿って、活動をより充実していく。 ◆りすくのつく事業については、BCP（SCP）との連携も踏まえつつ、今期においては少しでも前進を図りたい。	◆福祉サービス第三者評価事業については、好調な受注のもとに、充実した取り組みを実践することができた。一つひとつの案件に対して、その都度、受審目的を丹念にくみ取り、そのそれぞれに当機関ならではの創意工夫を凝らしてきた。また、評価体制の再構築に向けて、様々な改革を進めることができた。評価調査者も増員して、評価能力はこの一年で数段に強化されている。 ◆りすくのつく事業については、アンケート調査を実施した結果、一定の反応を得ることができた。次年度に、活動の具体化が期待できる環境となった。

こむねっと部会				平成30年度事業報告（H30/7/1～R01/6/30）
A：事業活動				(有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 成果	
1-1	福祉サービス第三者評価	通年	大阪府地域福祉推進審議会および評価機関連絡会	
	大阪府・評価機関		平成30年度も審議会の開催はなかった。	
	大阪府庁ほか		平成31年3月末をもって、大阪府社協が第三者評価事業を廃止。こども応援隊は大阪府から撤退。新たに4機関が参入（うち3機関が連絡会に参加）連絡会代表幹事として、大阪の第三者評価事業推進の重責が増しつつある。全社協主催の普及協議会、評価調査者指導者研修に参加。全国第三者評価調査者連絡会に入会。	
1-2	福祉サービス第三者評価	通年	第三者評価活動	
	福祉事業所		平成30年度は、6件の評価を完了（すべて奈良県）。大阪府下の障害者支援施設については事業所の事情で中断していたが、契約解除とした。	
	大阪府・兵庫県・奈良県		平成31年4月以降、新規の受注が相次ぎ、進行中。さらに、いくつかの事案照会中。	
2	SCP研究会	通年	サービス・コンティニューイティター・プランニング事業	
	BCP研究会参加団体		ゆめ風基金、PARTY・PARTY等とともに、災害時BCP研究会に参画（毎月第4金曜日）	
	大阪府内		平成30年度は、欠席がちになっている。	
3	りすくのつく	通年	障害者居宅の防災支援活動	
	ゆめ風基金		ちらし（アンケート付き）を配布。反応が出始めている。	
	大阪府下			
4	外部連携		諸団体等との連携を深め、ネットワークを構築する	
			(ボラ協) 研修会等の企画に随時参加	

こむねっと部会

平成30年度事業報告 (H30/7/1～R01/6/30)

B：部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 成果
1	7月部会 大阪市立社会福祉センター	7/21 (土)	
2	8月部会 8名 大阪市立社会福祉センター	8/18 (土)	報告) リスクノック事例検討介護について 議題1-6) 第三者評価の活動合 ぐりーん、すみれの里、奈良県手をつなぐ育成会、美原の郷、美吉野園 議題7) 第三者評価事業拡大検討
3	9月部会 8名 大阪市立社会福祉センター	9/15 (土)	報告) プルーシート作戦ほか 議題1-2) ぐりーん評価決定 すみれの里訪問計画 議題3) 今後の第三者評価取り組みについて(同朋学園、天王谷学園、阪南福祉事業会、かしの木園)
4	10月部会 6名 大阪市立社会福祉センター	10/6 (土)	議題1) 評価基準改定のポイント(高齢・障害)、国ガイドラインと奈良県評価基準の乖離点。 報告) 奈良県手をつなぐワークショップの経過 美原の郷 地域資源調査の経過
5	10月部会 その2 8名 ATC事務局	10/20 (土)	議題1) 評価基準改定のポイント(高齢・障害)、国ガイドラインと奈良県評価基準の乖離点。 議題2) すみれの里 評価検討 議題3) 美吉野園 訪問計画
6	11月部会 6名 大阪市立社会福祉センター	11/17 (土)	議題1) すみれの里 評価報告会のふりかえり 議題2) 今後の評価予定確認(美原の郷、奈良県手をつなぐ育成会) 議題3) 美吉野園 進行中の訪問調査のふりかえりと今後の詰め
7	12月部会 9名 大阪市立社会福祉センター	12/16 (土)	議題1) 奈良県手をつなぐ育成会 事前資料分析 議題2) すみれの里 評価についての法人からの意見 議題3) 美吉野園 評価についての法人からの意見 議題4) 美原の郷の現状と今後の予定 議題5) その他、今後の評価予定
8	1月部会 8名 大阪市立社会福祉センター	1/19 (土)	議題1) 美原の郷の状況と見通し 議題2) 奈良県手をつなぐ育成会 評価検討 議題3) その他 今後の予定(継続研修の受講、同朋学園の取り組み)
9	2月部会 5名 大阪市立社会福祉センター	2/16 (土)	議題1) 今後の第三者評価の取り組みについて ①案件の予定 ②評価チーム編成の方針 議題2) 奈良県手をつなぐ育成会の評価検討 議題3) その他
10	3月部会 5名 大阪市立社会福祉センター	3/16 (土)	議題1) 児童養護施設評価基準改定内容の確認
11	4月部会 11名(+オブザーバー1名) 大阪市立社会福祉センター	4/6 (土)	議題1) 奈良県手をつなぐ育成会第三者評価活動のその後(家族報告会等) 議題2) 今後の評価予定とメンバー構成 議題3) ふくてっくの第三者評価 標準的実施方法 議題4) 奈良県手をつなぐ育成会の理事に中北が再就任する場合の対応について 議題5) 第三者評価以外の部会テーマ企画について
12	5月部会 10名 大阪市立社会福祉センター	5/18 (土)	議題1) 第三者評価スケジュール確認 議題2) 評価基準項目のおさらい(児童養護施設と障害福祉施設の比較) 議題3) 美原の郷 ガイダンス資料の検討 議題4) その他(活動費配分規定について)
13	6月部会 8名(+オブザーバー1名) 大阪市立社会福祉センター	6/15 (土)	議題1) 第三者評価各案件(7件)のスケジュールと担当メンバー構成し 議題2) 同朋学園 訪問直前検討(各種資料の読み込み) 議題3) 三光塾 訪問直前検討(各種資料の読み込み) 議題4) 普及協議会から、トピックス紹介

こむねっと部会			平成30年度収益費用報告（H30/7/1～R01/6/30）		
事業・部会 No.	事業名		収益	費用	差益
8-1- 1～12	こむねっと部会 共通経費	①会議室室料	0	17,200	△ 24,814
		②支払手数料	0	7,614	
A1	第三者評価事業 天王谷学園 岸和田学園 あおぞら 長谷川羽曳野学園 ぐりーんの一部	事業収入	2,834,368		
		配分活動費（源泉税含）		1,905,500	
		印刷製本費		95,526	
		旅費交通費		420,690	
		通信費		626	
		消耗品費		1,260	
		雑費		287,815	
		研修費		69,400	
	（ 小 計 ）		2,834,368	2,780,817	53,551
A2	地域資源の利活用による 障がい者地域生活拠点構想		0	0	0
A2	SCP事業		0	0	0
—	特殊建築物調査		0	0	0
A3	りすくのつく		0	0	0
A4	外部連携		0	0	0
合計			2,834,368	2,805,631	28,737

こむねっと部会の期首収支計画では、第三者評価事業で約220万円、地域資源利活用構想で20万円、医療・福祉施設環境保全で80万円、計約320万円の収入を見込んでいた。決算では第三者評価事業のみで約280万円、その他事業は進捗がなかった。活動費配分基準を見直した結果、収益のほぼ全額を支出する結果となっているが、活動内容に比してまだまだ十分な評価ができていないといえず、さらなる経営体質の改善が求められる。

以上理事長総括以下、事務局報告、各部の活動報告ならびに収支報告について、議長は出席会員に賛否を問うたところ、一同異論なく、拍手をもってこれを承認した。

2号議案 平成30年度決算報告

(中北事務局長)

議長は、平成30年度決算を中北事務局長から報告するよう求めた。
中北事務局長は、以下の資料に沿って、法人の決算状況および財務状況を報告した。

平成30年7月1日から令和元年6月30日まで
活動計算書

(単位：円)

科目	決算金額		期首予算額	前年決算額
I 経常収支				
1. 受取会費				
正会員受取会費	365,000		370,000	365,000
通信会員受取会費	1,500		1,500	1,500
終身通信会員受取会費	500		500	500
学生会員受取会費	0		0	0
預り金	0		0	0
例会参加受取会費	2,500		3,000	2,000
受取会費計		369,500	375,000	369,000
2. 受取寄附金				
協賛金	0		0	0
受取寄附金	0		0	65,068
受取寄附金計		0	0	65,068
3. 事業収益				
ふくてっくのつどい	177,300		82,000	76,050
東大阪部会	4,680,180		4,408,000	4,392,360
こむねっと部会	2,834,368		3,259,100	1,408,300
NP015周年事業参加会費収入	0		0	159,500
事業収益計		7,691,848	7,749,100	6,036,210
4. その他収益				
受取利息	66		70	69
雑収益	43,009		800	809
NP015周年事業参加会費収入			0	
その他収益計		43,075	870	878
経常収益計			8,124,970	6,471,156
8,104,423				
II 経常費用				
1. 事業費				
(人件費)				
給料、手当(事業)	130,000		75,000	70,000
人件費計		130,000	75,000	70,000
(その他経費)				
材料費	11,792		9,000	8,062
業務委託費	0		350,000	78,130
諸謝金	5,106,500		5,440,000	4,083,161
印刷製本費(事業)	113,790		70,000	48,192
会議費(事業)	30,800		45,000	69,840
旅費交通費(事業)	834,058		903,000	612,376
車両費	2,400			
通信運搬費(事業)	6,095		16,000	13,709
消耗品費(事業)	77,298		120,000	165,714
諸会費			15,000	
13				

租税公課（事業）	2,600		11,000	3,200
研修費	69,400		180,000	147,500
支払手数料（事業）	22,140		21,000	17,658
雑費（NP015周年事業）				268,509
雑費	287,815		86,500	
その他経費計		6,564,688	7,266,500	5,516,051
事業費計		6,694,688	7,341,500	5,586,051
2. 管理費				
（人件費）				
給与 手当	120,000		122,400	122,400
通勤費	32,000		32,640	32,640
人件費計		152,000	155,040	155,040
（その他経費）				
諸謝金	65,685		80,000	76,822
印刷製本費	1,383		200	192
会議費	62,550		75,000	72,650
旅費交通費	10,000		600	560
通信運搬費	61,401		63,000	62,601
消耗品費	4,166		10,000	47,042
地代家賃	412,260		412,260	412,260
接待交際費	0		0	0
減価償却費	0		0	0
保険料	39,200		35,840	35,840
諸会費	10,000		27,000	27,080
慶弔費	0		0	0
租税公課	70,009		70,000	70,009
支払手数料	30,798		32,000	31,188
雑費	13,600		45,000	40,489
その他経費計		781,052	850,900	876,733
管理費計		933,052	1,005,940	1,031,773
経常費用計			7,627,740	8,347,440
当期経常増減額			476,683	△ 222,470
III 経常外収益				
経常外収益計		0	0	0
IV 経常外費用				
経常外費用計		0	0	0
税引前当期正味財産増減額				
当期正味財産増減額			476,683	△ 222,470
前期繰越正味財産額			6,530,760	6,677,428
次期繰越正味財産額			7,007,443	6,530,760

H30年度は、当初予算において約22万円の赤字を想定していましたが、結果的には約50万円弱の黒字決算となりました。

今期も、東大阪部会の活動収支が会の健全な運営維持に寄与しています。

しかしながら、東大阪部会の計画事業（ワンポイントアドバイスなど）が未消化に終わったことなど、決して喜ばしいことではなく、安閑とはしておれません。

貸 借 対 照 表

令和元年 6 月 30 日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,879,029		
流動資産合計		6,879,029	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			7,016,443
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	0		
預り金	9,000		
流動負債合計		9,000	
負債の部合計			9,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,530,760	
当期正味財産増減額		476,683	
正味財産の部合計			7,007,443
負債・正味財産の部合計			7,016,443

財産目録

令和元年 6 月 30 日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	134,121		
三菱UFJ銀行梅田支店	5,645,762		
ゆうちょ銀行	961,646		
郵便振替口座	137,500		
流動資産合計		6,879,029	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			7,016,443
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	0		
預り金	9,000		
流動負債合計		9,000	
負債の部合計			9,000
正味財産			7,007,443

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NP0法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NP0法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税の会計処理

消費税は税込経理により処理しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

	ふくてっくの つとい	東大阪 部会	こむねっと 部会		事業部門 合計	管理部門 合計	合 計
I 経常収益							
1. 受取会費					0	369,500	369,500
2. 事業収益	177,300	4,680,180	2,834,368		7,691,848	0	7,691,848
3. その他収益		33,000			33,000	10,075	43,075
経常収益計	177,300	4,713,180	2,834,368		7,724,848	379,575	8,104,423
II 経常費用							
1. 人件費							
給与・手当	130,000				130,000	120,000	250,000
通勤費					0	32,000	32,000
(人件費計)	130,000	0	0		130,000	152,000	282,000
2. その他費用							
材料費	11,792				11,792	0	11,792
業務委託費					0	0	0
諸謝金		3,201,000	1,905,500		5,106,500	65,685	5,172,185
印刷製本費		18,264	95,526		113,790	1,383	115,173
会議費		13,600	17,200		30,800	62,550	93,350
旅費交通費	82,000	331,368	420,690		834,058	10,000	844,058
車両費	2,400				2,400		2,400
通信運搬費		5,469	626		6,095	61,401	67,496
消耗品費		76,038	1,260		77,298	4,166	81,464
地代家賃					0	412,260	412,260
保険料					0	39,200	39,200
諸会費					0	10,000	10,000
租税公課		2,600			2,600	70,009	72,609
研修費			69,400		69,400	0	69,400
支払手数料		14,526	7,614		22,140	30,798	52,938
雑費			287,815		287,815	13,600	301,415
(その他経費計)	96,192	3,662,865	2,805,631		6,564,688	781,052	7,345,740
経常費用計	226,192	3,662,865	2,805,631		6,694,688	933,052	7,627,740
当期経常増減額	△ 48,892	1,050,315	28,737		1,030,160	△ 553,477	476,683

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	427,590	0	0	427,588	2
合計	427,590	0	0	427,588	2

議長は以上の報告について、出席会員の意見を求めたところ、一同異議なく承認した。

監 査 報 告 書

令和元年8月3日

特定非営利活動法人 ふくてつく

理事長 小川 忠雄 様

監 事 秋岡 安



監 事 稲住 泰広



特定非営利活動法人ふくてつく 定款第34条に基づき、平成30年度における監事
監査を令和元年7月29日に実施したところ、次の通りであったので報告します。

- | | |
|------------|--------|
| ・法人の財産管理状況 | 特に問題なし |
| ・法人の会計状況 | 特に問題なし |
| ・その他の状況 | 特に問題なし |

4号議案 令和元年度 活動計画および収支計画

議長は、続けて各部の次年度事業計画等についての報告を求めた。

1. ふくてっくのつどい (小川会員)

ものづくり活動			令和元年度事業計画（R01/7/1～R02/6/30）	
A：事業活動			（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）	
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 期待する成果	
1	幼稚園親子木工教室	10/30	子どもたちに「木に触れ合う」機会を作ってほしいとの幼稚園の要望 自由に自然木を使い工作を楽しんでもらうと共に、工具体験でオリジナル作品を創作する	
	羽曳野市立幼稚園			
	上記幼稚園(羽曳野市)			
2	39回池島ふれあいまつり	11/23	地域のふれあいまつりで工作を通じて交流する。 ふくてっく最長継続活動で地域の成長、子供の成長を見守る。	
	社会福祉法人海の子の家			
	池島公園			
3	共生・共走リレーマラソン	5/24	障がい児に工作を体験してもらう。 例年同様、年度最後のふくてっくのものづくり祭り。	
	マツサク			
	花博鶴見緑地公園			

B：部会活動		(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)	
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者・人数 場所		期待する成果
1	里山材料調達	3回／年	木工活動の材料調達
	各5名参加予定		丸太輪切りや枝の収集など自然の恩恵を授かる。
	生駒いいもり山		

ものづくり活動					令和元年度収益予算計画 (R01/7/1～R02/6/30)	
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益		
A1	幼稚園親子木工教室	20,000	16,000	4,000		
A2	池島ふれあいまつり	25,000	25,000	0		
A3	共生・共走リレーマラソン	9,000	20,000	△ 11,000		
合計		54,000	61,000	△ 7,000		

たいけん活動			平成元年度事業計画（R01/7/1～R02/6/30）	
B：部会活動			（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）	
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等	
	参加者・人数 場所		期待する成果	
1	カニご賞味会＆交流会	1回／年	異業種間＆会員間交流	
	10名参加予定		ふくてっくが誇る慰労企画として、会員以外の異業種交流の場として情報交流の場として期待する。	
	eトコ（東成区）			
2	里山花見	4月初旬	会員間交流	
	10名参加予定		里山の自然を満喫する為、桜のみならず山の花々を楽しみながら散策する。	
	生駒いいもり山			

2. 東大阪部会

(清水会員)

東大阪部会は、東大阪の委託事業として始まった適正検証事業も14年目にはいりました。H31年度から介護保険住宅改修においては、市のスタンスが現場目線から書類優先の対応と大きく舵取りが変わっていますが、当会としては、利用者ファーストの考えを基に適正化検証に関わっていきます。今年度も継続して事業を展開していきますが、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。また、寝屋川市への支援事業も、介護支援専門員の研修会も登録者研修の一環として位置づけられ4年目に入り研修会を実施しています。

H30年度から市民の住環境改善に当事者としての気づきを促すため、大阪市住まい情報センターとのタイアップ出前講座/地域に出向いての市民啓発講座「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」を今年度も引き続き実施していきます。

東大阪部会		令和元年度事業計画 (R01/7/1~R02/6/30)	
A：事業活動		(有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)	
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 期待する成果
1	東大阪市重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	R1年 7/1~ R2年 6/30	目的：障害者の住環境のバリアフリー化を促進する。
	東大阪市		障害者の住環境が改善され、継続して在宅生活を送る事ができる。
	東大阪市内		
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	R1年 7/1~ R2年 6/30	目的：対象者の自立支援や事故防止、住宅改修の質的向上と、不適切な介護保険適用を抑制する。
	東大阪市		高齢者の自立した日常生活を継続し、介護者の負担を軽減する。
	東大阪市内		
3	東大阪市介護保険住宅改修研修会	R1年 8/21.28 9/25	目的：高齢者等の生活の質の向上及び自立を支援する住環境整備のスキルの向上。
	東大阪市		高齢者の安心・安全な暮らしを実現すると共に、介護支援専門員の質的向上、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。
	東大阪市内		
4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	R1年 8/26	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。
	寝屋川市		施工事業者・介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。
	寝屋川市立保健福祉センター		
5	大阪市住まいの情報センター・出前講座	R1年7月 ~ R2年3月 10/14 1/22	目的：高齢者やその家族が自立した生活を継続するために必要な住環境改善について知識を有し、主体的に取り組む事を目指す テーマ：「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」
	市民		高齢者の身近なテーマから、住環境改善の知識を有し主体的に住環境整備に関わり、安心・安全な暮らしを継続する。
	大阪市内		

東大阪部会		令和元年度事業計画 (R01/7/1~R02/6/30)	
B：部会活動		(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)	
No.	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等 期待する成果
1	定例部会(月1回開催)	R1年7月 ~ 第3土曜 12回	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討
	検証メンバー		チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する
	大阪市立社会福祉センター・ATCふくてっく事務局他		

R01年度東大阪検証活動 作業担当予定

月	検証活動日	検証記録	改造助成事前相談会		活動予定	部会			ふくてっく定例会	その他活動予定および備考
	介護住介：木曜 グシツクは水曜 改造助成：第1・3木曜	集積送信	第3木曜	担当	作成連絡	第3土曜	議事進行	記録	発表担当	
7	4.11.18.25	春岡	7/18	春岡	7/11 7/25 小川	7/20	山本	曾我部	春岡	
8	1.8.22.29	清水	8/22	山本	8/8 8/22 山本	8/17	川北	清水	8/3なし	・8/21.28介護住改登録説明会及び研修会、 ・8/26寝屋川研修会
9	5.12.19.26	寺岡	9/19	寺岡	9/12 9/26 川北	9/21	山本	寺岡	寺岡	・9/25東大阪ケア研修会
10	3.10.17.24.31	大塚	10/17	大塚	10/10 10/24 小川	10/19	川北	大塚	大塚	
11	7.14.21.28	川北	11/21	川北	11/14 11/28 山本	11/16	山本	川北	川北	
12	5.12.19.	鎌田	12/19	小川	12/12 川北	12/21	川北	小川	曾我部	
1	9.16.23.30	後藤	1/16	後藤	1/9 1/23 小川	1/19	川北	後藤	1/4なし	
2	6.13.20.27	後藤	2/20	後藤	2/13 2/27 山本	2/15	川北	後藤	後藤	
3	5.12.19.26	小川	3/19	清水	3/12 3/26 川北	3/21	山本	小川	磯田	
4	2.9.16.23.	未定	4/16	未定	4/9 4/23 小川	4/18	未定	未定	未定	
5	7.14.21.28	未定	5/21	未定	5/14 5/28 山本	5/16	未定	未定	未定	
6	4.11.18.25	未定	6/18	未定	6/11 6/25 川北	6/20	未定	未定	未定	

※「活動予定/作成・連絡」は、上記以外の活動日は清水が担当。

東大阪部会

令和元年度予算計画 (R01/7/1～R02/6/30)

東大阪部会		令和元年度予算計画（R01/7/1～R02/6/30）			
事業・部会 No.	事業名	収益	費用		差益
A-1	東大阪市重度障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	700,000	600,000		100,000
			諸謝金	550,000	
			旅費交通費	50,000	
			消耗品費	0	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	3,600,000	3,070,000		530,000
			諸謝金	2,600,000	
			旅費交通費	350,000	
			消耗品費	70,000	
			印刷製本費	10,000	
			通信運搬費	5,000	
			会議費	15,000	
			租税公課	5,000	
			支払手数料	15,000	
A-3	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	108,000	103,000		5,000
			諸謝金	80,000	
			旅費交通費	18,000	
			消耗品費	5,000	
A-4 A-5	大阪市住まい情報センター ・タイアップ事業 ・出前講座	0	150,000		△ 150,000
			諸謝金	110,000	
			旅費交通費	25,000	
			通信費	5,000	
			消耗品費	10,000	
A-6	ワンポイントアドバイス	0	150,000		△ 150,000
			諸謝金	100,000	
			旅費交通費	30,000	
			消耗品費	20,000	
合 計		4,408,000	4,073,000		335,000
			諸謝金	3,440,000	
			旅費交通費	473,000	
			消耗品費	105,000	
			通信費	5,000	
			印刷製本費	10,000	
			通信運搬費	5,000	
			会議費	15,000	
			租税公課	5,000	
			支払手数料	15,000	

7.6%

3. こむねっと部会

令和元年度事業計画 (R01/7/1～R02/6/30)

A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 期待する成果
1-1	福祉サービス第三者評価 ①	R01年 7月～ R02年 6月	大阪府地域福祉推進審議会 福祉サービス第三者評価分科会・同基準等部会 評価機関連絡会
	大阪府推進審議会と 評価機関連絡会		大阪府社協の事業撤退という、大きな転換点にあつて、評価機関連絡会での活動の重みが増している。 審議会においては、開催もままならず年月が経過しているが、今年は第三者評価関係委員の学識経験者メンバーがそろって退任する予定で、また一からの体制構築を余儀なくされている。 毎年のように、連絡会代表幹事を降りたいと言いつつ続けてきたが、逆に重責化しつつある。3年を目途に大阪の第三者評価事業の推進にめどを立てて役割を全うしたい。
	大阪府		
1-2	福祉サービス第三者評価 ②	R01年 7月～ R02年 6月	ふくてっく第三者評価事業の拡大発展
	評価機関体制整備と 評価の取り組み		大阪府社協の退出とは、さほど運動しているわけではないが、受審の照会が急増している。 ふりかえれば、この1～2年に評価機関としての力量も飛躍的に強化されたと自認している。 今年度は昨年度から引き続き好調な受託状況を維持しており、また来年4月からの年度は社会的養護関係施設の第三者評価第3クール最終年度にあたるので、相当な過密活動が予想される。当機関は、その特性として極めて手厚い体制で評価に臨んできた経緯や、各々本務を有するメンバーが多いこともあり、自ずと取り組み可能な案件数には上限がある。スケジュールの調整に工夫を凝らして、可能な範囲で、決して評価の質を落とさぬよう取り組んでいきたい。この年度は、そのような考え方で、問い合わせ案件については、内容をよく吟味して、当機関が臨むべき事業所に対象を絞って、選択的に受注してゆきたい。
			評価機関の体質向上には、なお一層の取り組みが欠かせない。
1-3	福祉サービス第三者評価 ③	R01年 7月～ R02年 6月	具体(複数)の評価活動を実施する。
	具体の福祉サービス事業 所		(昨年度からの継続案件) 同朋学園、三光塾 (今後の取り組み案件/未確定を含む) 和泉幼児院、大阪重症心身障害児者を支える会(ゆら・みどり教室)、阪南福祉事業会(岸和田学園・あおぞら)、かしの木園、槻ノ木荘、大阪市一時保護所、天王谷学園、花の会、らくじ苑グループその他・・・
	大阪・兵庫・奈良の各府 県		
2	地域資源利活用による 障害者の地域生活拠点構 想	R01年 7月～ R02年 6月	空地・空家の有効活用によって、障がい者の地域生活拠点(GH・日中活動の場)を効果的に整備する。
	福祉事業者		いくつかの起案はあるが、今年度に進捗するかどうか、不明確。 昨年度までは、様々なネットワークを駆使してアウトリーチを探したが当面、再び”待ちの体制”にもどって、相談に随時対応する。
	大阪を中心とする近畿圏		
3	SCP研究会	R01年 7月～ R02年 6月	BCP研が企画している課題(災害時およびその直後)の安心・安全とは、当会の設定する課題(本来の「事業継続性」)とが、若干異なることに鑑み、今後はBCP研との連携は保ちつつ、当会独自の活動方針を確立していく。
	ゆめ風基金、 ぱあていばあてい他 (福祉事業の継続性)		①施設のハード面の維持管理・機能保全を中核とする実業 (調査・改修企画、設計・改修およびリノベーションのプロデュース)
	概ね大阪府下		②事業継続に係るリスク要因の調査・分析 ・社会構造変化に伴い、重度化・多様化する医療、福祉ニーズの傾向 ・人的資源の確保、開発(働き方改革、総合的人事管理、外国人労働力) ・地域福祉とまちづくり(市民活動と福祉力、文化)
4	医療・福祉事業環境整備 (施設環境の継続性)	R01年 7月～ R02年 6月	
	医療・福祉事業法人		
	大阪を中心とする近畿圏		
5	りすくのつく	R01年 7月～ R02年 6月	災害発生時における障がい者生活空間の安全化を支援
	障がい者個人および その支援団体等 (ゆめ風基金との連携)		昨年度に配布したちらし(アンケート)によって、出始めた反応への対応。 相談・調査対応の体制確立 ・メンバーの再構成 ・調査票、記録のフォーマット作成
	概ね大阪府下		

昨年にようやく目鼻が立ち始めた福祉サービス第三者評価事業については、今後飛躍的な発展が見込まれる。当機関の特性である丁寧な評価手法を堅持して、評価機関としての高い質をさらに追及していく。

その他事業については、BCP研とは一線を画して、当会の特徴である施設整備・機能保全のノウハウを基軸として、これに福祉にかかる知見を兼ね合わせたプロジェクトを模索する。リすくのっくの活動は、これと直接にリンクするものではないが、すべての活動が”利用者の最善の利益”を目とする当会の理念に基づくものとして位置づけられる。

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1	7月部会	7/20	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		①第三者評価検討（同朋学園・三光塾・和泉幼児院）
	ATC・ITM棟		②普及協議会・指導者研修の振り返りから、第三者評価に係る動向
2	8月部会	8/17	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		三光塾の評価検討
	大阪市立社会福祉センター		今後の取り組み案件について、資料療読込等
3	9月例会	9/21	
	第三者評価調査者		三光塾の評価決定、ほか進行中の評価案件スケジュール調整
	大阪市立社会福祉センター		大阪市一時保護所第三者評価の研究
4	10月部会	10/19	未定
	第三者評価調査者		
	大阪市立社会福祉センター		
6	11月部会	11/16	未定
	大阪市立社会福祉センター		
7	12月部会	12/21	30年度上半期をふり返る
	大阪市立社会福祉センター		
8	1月部会	1/18	未定
	大阪市立社会福祉センター		
9	2月部会	2/15	未定
	未定		
10	3月部会	3/21	未定
	未定		
11	4月部会	4/19	未定
	未定		
12	5月部会	5/16	未定
	未定		
13	6月部会	6/20	30年度をふり返る
	未定		

今期は、第三者評価事業が繁忙を極める。その評価検討は、担当メンバー間で随時・迅速にメールによる意見交換を中心として進めることとして、部会では全体的な課題を中心とする。また、昨年度はついに果たせなかったが、第三者評価以外のこむねっとメンバーにも意味ある部会としてゆきたい。

こむねっと部会		令和元年度収支計画 (R01/7/1～R02/6/30)			
事業・部会 No.	事業名	収益	費用		差益
A1-1	第三者評価 審議会・連絡会・第三種	0		3,000	△ 3,000
A1-2	福祉サービス第三者評価事業拡大等、 基礎経費	0	事務局経費(8%)	277,626	△ 277,626
	第三者評価共通経費 (印刷費、交通費ほか雑費)	0	(13%前後)	451,142	△ 451,142
	福祉サービ ス第三者評 価事業実務	同朋学園	活動費配分 (70%)	229,600	98,400
		三光塾	活動費配分 (70%)	236,600	101,400
		和泉幼児院	活動費配分 (70%)	215,600	92,400
		大阪重症心身障害児者を支える会	活動費配分 (70%)	252,000	108,000
		阪南福祉事業会 (未契約)	活動費配分 (70%)	554,400	237,600
		かしの木園 (未契約)	活動費配分 (70%)	294,224	126,096
		槻ノ木荘 (未契約)	活動費配分 (70%)	215,600	92,400
		その他今期中の新規案件	活動費配分 (70%)	431,200	184,800
		以上計		3,157,991	312,329
	研修費			80,000	△ 80,000
A2	地域資源利活用障がい者地域生活拠点 構想	0	活動費・諸経費	0	0
A3	SCP (BCP)	0	活動費・諸経費	0	0
A4	医療・福祉施設環境保全 (特建調査を含む)	0	業務委託費 活動費・諸経費	0	0
A5	りすくのっく	0	活動費・諸経費	50,000	△ 50,000
共通	各種活動、ネットワーク構築	0		20,000	△ 20,000
共通	情報発信・資料印刷経費	0		40,000	△ 40,000
共通	会議費	0		30,000	△ 30,000
合計		3,470,320		3,380,991	89,329

H30年度のこむねっと部会の収入は第三者評価の280万余でしたが、令和元年度は既にこれを超える収益がほぼ確実視されています。

A2以下の事業については、収益が確実視できませんので、基本的な経費計上のみに留めています。

A4の事業は、昨年度から継続の懸案ですが、発注法人の事情により、当面のスタートが見送られています。

第三者評価事業については、本年4月の部会で、チーム構成と活動費配分の基準を定めて、合理化を図っていますが、事業活動において大きな収支差額を生むことは困難です。当面は、赤字発生を避けながら、活動体制の充実を図ってゆくこととします。

りすくのっくについては、ようやく活動が芽生える気配がありますが、元来活動費を請求しないことを原点とする企画であり、メンバーのボランティアな福祉マインドに期待するところです。

議長は、以上各部の活動計画および収支予定について、意見を求めたところ、一同異議なく承認した。

5号議案 令和元年度 活動予算計画

議長は、令和元年度の活動予算計画について、中北事務局長より報告を求めた。
中北事務局長は、以下の諸表にそって活動予算計画を報告した。

令和元年7月1日から令和2年6月30日まで
活動計算書

単位：円

科目	金額			前年決算額
I 経常収支				
1. 受取会費				
正会員受取会費	370,000			365,000
通信会員受取会費	1,500			1,500
終身通信会員受取会費	500			500
学生会員受取会費	0			0
例会参加受取会費	3,000			2,500
受取会費計		375,000		369,500
2. 事業収益				
ふくてっくのつどい	54,000			177,300
東大阪部会	4,408,000			4,680,180
こおねっと部会	3,470,320			2,834,368
事業収益計		7,932,320		7,691,848
3. その他収益				
受取利息	70			66
雑収益	10,000			43,009
その他収益計		10,070		43,075
経常収益計			8,317,390	8,104,423
II 経常費用				
1. 事業費				
(人件費)				
給料、手当(事業)	150,000			130,000
人件費計		150,000		130,000
(その他経費)				
材料費	10,000			11,792
業務委託費	0			0
諸謝金	6,141,991			5,106,500
印刷製本費(事業)	120,000			113,790
会議費(事業)	45,000			30,800
旅費交通費(事業)	850,000			834,058
通信運搬費(事業)	10,000			6,095
消耗品費(事業)	80,000			77,298
諸会費	10,000			
租税公課(事業)	6,000			2,600
研修費	70,000			69,400
支払手数料(事業)	22,000			22,140
雑費	0			0
その他経費計		7,364,991		6,564,688
事業費計			7,514,991	6,694,688
	25			

2. 管理費				
(人件費)				
給与 手当	150,000			120,000
通勤費	32,000			32,000
人件費計		182,000		152,000
(その他経費)				
諸謝金	80,000			65,685
印刷製本費	2,000			1,383
会議費	75,000			62,550
旅費交通費	10,000			10,000
通信運搬費	63,000			61,401
消耗品費	10,000			4,166
地代家賃	412,260			412,260
接待交際費	0			0
減価償却費	0			0
保険料	35,840			39,200
諸会費	10,000			10,000
慶弔費	0			0
租税公課	70,000			70,009
支払手数料	32,000			30,798
事務用品費 PC購入	80,000			0
雑費 事務所移転経費 その他	80,000			13,600
その他経費計		960,100		781,052
管理費計			1,142,100	933,052
経常費用計			8,657,091	7,627,740
当期経常増減額			△ 339,701	476,683
Ⅲ 経常外収益				
経常外収益計			0	0
Ⅳ 経常外費用				
経常外費用計			0	0
税引前当期正味財産増減額				
当期正味財産増減額			△ 339,701	476,683
前期繰越正味財産額			7,007,443	6,530,760
次期繰越正味財産額			6,667,742	7,007,443

3部会の事業計画および収支予算書を統合し、管理部門経費については、過年度の傾向を踏襲してまとめています。

339,701円の赤字予算となりました。

議長は、以上の報告について意見を求めたところ、一同異議なくこれを承認した。

6号議案 役員改選の件

定款第11条 この法人に次の役員をおく。

理事 6名以上12名以下

監事 1名以上 2名以下

定款第15条 役員の任期は2年とする。再任を妨げないが、原則として任期満了時に役員の3分の一程度を改選するものとする。

議長は、NPOふくてっく定款の第11条、第15条を示し、本年が役員改選期にあたるので、理事会として以下の通り、理事の改選を提案する旨、諮った。

現在の理事	池端一義	岡 道信	小川忠雄	荻田保志
	清水麗子	杉浦史郎	曾我部千鶴美	中北 清
				以上8名（敬称略）
現在の監事	秋岡 安	稲住泰広		以上2名（敬称略）

退任する理事： 中北 清

新任の理事： 上田牧人 大塚裕司

以上について、出席会員からは意義なく、また他に自薦他薦による新任候補の提案もなく、理事会提案を承認した。

なお、中北会員は引き続き事務局長職を務めるものとする。

7号議案 法人所在地移転の件

議長は、本法人所在地を大阪市住之江区南港北2丁目1番10号ATC・ITM棟11階エイジレスLにおいていたところ、この度、ATC・ITM棟運営主体からの要請で同ビル5階へ移転することとなり、移転の後には定款を変更する必要があることを報告するとともに、現行の定款には地番の後にATC・ITM棟11階エイジレスLとまで明記しているので、定款変更が必要となる述べた。

所在地変更については、ビル名以下の表記を省略して地番までとするなど、事務処理については理事会に一任してほしいと、諮ったところ、一同異議なくこれを承認した。

なお、移転は今秋を予定しているが、詳細な時期は運営主体と協議中で、未定である。

議長は以上をもって、予め用意したすべての審議を終了したことを述べ、他に動議がないことを確認したうえで、15：00に閉会を宣言した。

以上の議事録に相違ありません。

議長

小川 忠雄



議事録署名人

和泉 秀子



曾我部千鶴美

